

# 委員派遣報告書

令和5年11月23日

播磨町議会議長 様

委員会名 議会広報公聴常任委員会

報告者氏名 委員長 宮宅 良

みだしのことについて、下記のとおり報告いたします。

## 記

1. 会議名等 視察研修
2. 派遣目的 議会広報公聴常任委員会として、技能研鑽・情報収集
3. 派遣期間 令和5年11月16日(木)～令和5年11月17日(金)
4. 派遣場所 神奈川県寒川町、埼玉県小川町
5. 派遣委員 委員長 宮宅 良、副委員長 細田 武男、  
委員 岡田千賀子、木村 晴恵、竹内 基就

## 6. 会議等の概要

令和5年11月16日（委員会視察研修第1日）

神奈川県寒川町議会は、全国町村議会議長会による令和元年度町村議会広報表彰（第34回広報コンクール）において、寒川町議会だより第190号が、企画・構成部門で奨励賞を受賞されている。議会だよりの編集では、委員会と議会事務局の協力関係が構築されており、そのことが企画・構成部門での奨励賞受賞につながっているという印象を受けた。

また、タイムリーに改善や改革を実行できる体制として、広報公聴委員会は、議会運営委員会の委員で構成されている。

(1) 寒川町議会広報広聴委員会 概要

- ・令和5年度発行部数 21,200部
- ・配布方法 ポスティングにより、町広報紙と一緒に全戸配布
- ・令和5年度予算 3,698,860円(単価契約1ページ2円×1.1)
- ・編集体制 広報広聴委員会は、議会運営委員会委員で構成

(2) 議会だより編集における役割分担

- ・議員 一般質問を行った議員が質問部分の原稿を作成
- ・議会事務局：一般質問答弁・一般質問以外の記事・全体の割付
- ・広報広聴委員会：割付後の原稿確認、表紙の選定

(3) よりよい紙面づくりに向けた取組について

- ① 全体イメージ：町ブランドマーク、ブランドカラーの採用。
- ② 寒川町ブランドスローガン「高座」のころ  
その名に品格と高い志を感じるこの地で、いにしえからさむかわの人々に受け継がれている穏やかさ、優しさ、あたたかさが「高座」のころです。
- ③ レイアウト・記事内容  
町民にとって、見やすい・分かりやすい議会だよりを目指した取組。

(4) 課題

- ・掲載記事の固定化
- ・読者の目を引く、読みたくなるレイアウト・見出しの工夫
- ・表紙写真の選定
- ・住民参加型記事の企画・立案
- ・横書き・左開きへの変更

(5) 今後の方策

- ・読者に「伝わる」広報づくり
- ・読者の関心を誘発する見出し・記事づくり
- ・読者の意見を反映できる体制の構築

(6) 公聴

- ① オープントーク Café (ワールドカフェ) が取り組みやすく有効な理由
    - ・参加者の負担感が少ない。
    - ・主催者にファシリテーションのスキルがそれほど必要ない。
    - ・発言の記録が模造紙に残る。
    - ・たくさんの人と話ができ、楽しくなる。
- ※ ワールドカフェは「発散」が目的。合意形成が目的ではない。

令和5年11月17日（委員会視察研修第2日）

埼玉県小川町議会の議会だより「おがわざかい」は、全国町村議会議長会による町村議会広報表彰（広報コンクール）において、令和4年度優良賞（第7位）、令和3年度及び令和2年度優良賞（第4位）、令和元年度優良賞（第6位）を受賞しており、全国の議会だより編集におけるトップランナーである。

議会だよりの編集は、議会広報発行特別委員会で行っており、議会だよりの編集を議会から付託されていることから、紙面づくりに関して、当該委員会が様々な改革や編集方針を積極的に決定しているという印象を受けた。また、委員会での編集において、委託業者がほぼ出席しており、委員から出たイメージや変更点、委託業者からの提案などを即時反映し、可視化させることで編集効率アップや仕上がりイメージの共有を図っている。改革を続ける委員や議会事務局の熱意も素晴らしく、それが決して安くはない委託料の予算確保につながっている。

視察を通じて「おがわだより」がトップランナーであり続ける理由が垣間見えた。

#### （1）小川町議会広報発行特別委員会 概要

- ・発行部数 12,200部（1号あたり）
- ・配布先 町内全戸配布、事業所、学校、近隣市町村議会、県議会
- ・委託料（編集・印刷） 4,037千円（単価契約1ページ4円70銭、税別）
- ・編集者 議会広報発行特別委員会
- ・委員定数 各常任委員会から選出6名

#### （2）委員会編集方針

- ① 「町民の笑顔と一生懸命な姿」をテーマに、まず手に取ってもらえるために写真を表紙とした。また2、3ページの見開きを最重要ポイントとして力を入れている。
- ② 住民目線でわかりやすい表現を心がける。行政用語を極力避け、わかりにくい文言には、欄外に解説をいれる。
- ③ 一般質問は、議員3人で2ページを基本に余白も考慮し、質問の関連写真を1枚挿入し、読みやすさに配慮している。
- ④ 「わたしのヒトコト」で、町民に参加してもらおうコーナーを設けている。また、議員が町民の中に入り取材する「議員の聞く×つなぐ」のコーナーではアンケートを実施し、議会報に興味を持ってもらえる環境づくりをしている。
- ⑤ 協議は全員で行い、研修などで良いと思われることは積極的に取り入れていく。

#### （3）第79号からの紙面リニューアルに伴う「6つの約束」

- ① 読みやすい文字  
行間広めで読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用。

- ② やさしい表現  
難しい言葉はわかりやすく、専門用語には解説を付ける。
- ③ 見やすい誌面  
大きめの見出し文字、適度な余白などで見やすいレイアウトに。
- ④ 親しみあるデザイン  
20代・30代の方にも手にとってもらえるデザインをめざす。
- ⑤ 皆さんの声を大事に  
町民の皆さんにご登場いただく場面を増やしていきます。
- ⑥ 色への配慮  
多様な色覚を持つ方にとって少しでも読みやすくなるよう、色の使い方にも配慮します。